

## R5-01

## 中学校区における防犯の取組及び地域と連携した見守り活動の工夫

- 管 内 石狩管内
- 分 類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ  
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（ 科） 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低）小学校（中）小学校（高）中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 中学校区における防犯に向けた取組の工夫
- 2 地域見守り隊による登下校時の防犯活動の実施
- 3 P T Aによる登校見守りボランティアの実施

## ■取組の実際

## ねらい

- 警察と連携した防犯教室や、生徒会が主体となった防犯宣言を策定することにより、生徒が自ら考えて判断できる資質・能力を育成する。
- 地域やP T Aと連携した登下校中の見守り活動等を実施することにより、児童生徒への安全啓発及び安全確保など、防犯対策を強化する。

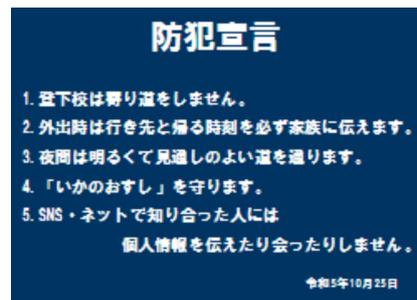
## 内 容

## 1 中学校区における防犯に向けた取組の工夫

生徒が地域の安全に主体的に関わり、自ら危険を予測し、回避できるよう、警察と連携した防犯教室を実施するとともに、生徒会が主体となり、防犯宣言を策定した。

防犯教室では、不審者対応の方法等、警察と事前に協議し、講話の内容を精選するなど工夫した。

また、生徒会が中心となり、防犯宣言を策定し、啓発のため、中学校区内の小学校に防犯ポスターを作成、配付した。



【中学校で策定した防犯宣言】

## 2 地域見守り隊による登下校時の防犯活動の実施

中学校区の町内会と連携し、登下校時に交通安全の啓発及び不審者との遭遇の未然防止活動を実施した。

地域ボランティアによる児童生徒への積極的な挨拶や安全指導を進めたことにより、学校だけでなく、児童生徒が地域の住民と関わるなど、地域全体での防犯意識の向上につながっている。



【地域見守り隊による活動】

## 3 P T Aによる登校見守りボランティアの実施

児童生徒の安全確保に向けて、P T Aにボランティアを募り、登校時における見守り活動を実施した。活動終了後は、保護者と学校で登校の様子等の情報を共有することで、防犯対策の強化を図った。

## 成果と課題

- 生徒会を中心とした防犯の取組や、防犯教室の内容を工夫したことにより、生徒の防犯意識が高まり、自分の身を守る安全な行動をとるための判断力を身に付けることができた。
- 地域と学校が一体となり、児童生徒の安全確保に向けた体制を確立することができた。
- 警察や地域と連携した防犯に関する取組を、市全体に普及させる必要がある。